

# 光明寺だより

第107号  
浄土真宗本願寺派  
光明寺

〒793-0030 西条市大町550  
TEL 0897-53-4583

## 心に残る詩

いのち 大阪 大西 毅 89



私という機械  
八十九年もの間  
時に油をさしたが  
休みなく動いてきた  
本当にありがとう  
こんなすごい精密機械  
富岳でもAIでも  
作れることは出来まい  
それが最近  
おかしくなってきた  
もう少しでいいから  
がんばっておくれよな  
でも欲が深いかな



産経新聞「朝の詩」より

## 「新盆合同追悼法要」は中止いたします

新型コロナウイルス感染予防のため本年の新盆合同追悼法要は中止いたします。それぞれご自宅で追悼してください。お寺では新盆のおつとめをしておきます。ご自宅でのお飾りは法事の時と同じです。盆提灯しょうりょうだなや精霊棚はしません。迎え火、送り火もしません。

★本紙4ページにお盆のことを説明していますので、ご参照ください。

## 一口法話

## 結婚式での挨拶



15年ほど前のことになりましたが、同じ宗派のお寺の息子さんの結婚式に招かれたことがあります。当時、私は西条組の組長そちやうをしていた関係で事前に祝辞を頼まれていましたので、次のようなお話をいたしました。

私ども浄土真宗は「在家ざいけ仏教」と言われています。

在家仏教とは家庭生活を営みながら、仏さまの教え（お念仏の教え）を喜んでいく、或は、仏さまの教え（お念仏の教え）を支えとして家庭生活を営むということ  
です。

これは親鸞聖人以来、我が教団の伝統であります。浄土真宗の僧侶の結婚というの、まさにこうした仏さまの教えを支えとした家庭生活を生涯通して実践していくことにあると思います。

ところで、大無量寿経というお経に、「当相敬愛」（まさに敬愛すべし）という

言葉があります。

夫婦はお互い敬い合い、愛し合うことがもっとも大切なことだと書いています。つまり愛に敬いがなければ本  
当の夫婦ではないということです。

そこで、若いお二人にこれから夫婦生活を送る上で、是非心がけて頂きたいことを二つ申し上げたいと思います。

その一つは、「短所は片目で、長所は両目で見る」ということです。

どういふことかと言いますと「相手の悪いところは大目に見てあげる。そして相手の良いところはしっかりと見てあげる」という意味です。

というのは、我々人間の目は、悪いところはよく見えるのですが、良いところは中々見えないように出来ています。特に、夫婦の場合、それが顕著になってきます。

しばらく夫婦生活を続けておきますと、当然お互いの良いところも悪いところも見えてくるのですが、どういふわけか、相手の良いところは見ようとせず、悪いところばかり見てしまうのです。

こうしたことが長年続くと、夫婦として一番大事な「相手を敬う」という気持

ちが無くなるのです。

そうになると、奥さんは「当てがはずれた、当てがはずれた」と年中愚痴をこぼし、主人は主人で「一生の不作じゃ」と後悔をする、まさに名ばかりの夫婦、形ばかりの夫婦に成ってしまうのです。

それもこれも、相手を敬うという心  
を失ったことに原因があるのです。

そうならないためにも、「短所は片目で見、長所は両目で見る」ということを是非心がけて頂きたいと思いま  
す。

また、今一つ心がけて頂きたいことは「何事も相手の都合を優先する」ということです。実はこれが、独身時代と一番違うところだと思います。

独身の頃は、「好きな時に起き、好きな時に食事をして、好きな時に遊んで、好きな時に寝る」というように、何をすることも自分の都合で生きてきた  
と思います。

つまり、自分の都合100%で生きてきたわけ  
です。

それを、これからは相手の都合を優先していき、少なくとも自分の都合を

半分（50％）に抑えていく、これが「二人で人生を共にする」ということだと思います。

仏教では、こうして相手の都合、相手の立場を100％優先されるお方を「仏さま」とおっしゃるのです。

また、そういう人生をめざしていこうとする方を「菩薩ぼさつ」と言うのです。

菩薩とは「あなたの幸せが私の幸せです。あなたが幸せでなかったら私も幸せではありません」という心を持った方です。ですから、「相手の都合を優先して生きる」ということは、菩薩道を家庭生活の中で実践していくということになるのです。

100％自分の都合で生きてきた人生を、相手の都合100％の人生に転じていこうと努力していく、そこに在家仏教の意義があるのです。

以上申し上げた二つのこと、「短所は片目で見ても、長所は両目で見ると」という事と「何事も相手の都合を優先する」という事、中々実行することは難しいことですが、是非若いお二人には生涯通して心がけていただきたいと思えます。

そうして、お念仏のみ教えに支えられ、

共に敬い愛し合う麗うつくしいご家庭が築かれ  
ますよう心から念じ上げる次第です。

以上のようなお話をいたしました。

結婚式の挨拶は人生の先輩という立場から話すことが多いため、どうしても教訓めいた話になってしまいます。私の場合、僧侶ということもあり、ついついお説教口調で、しかも自分の事はさておいて得意気にしゃべってしまうことが多いのです。

あれから15年……、はたして私自身、そのような人生を送ってきただろうか？  
静かに問い直してみますと、「してきました」とは中々言えそうにもない、そんな心もとない思いをいたしているところ  
であります。

これはつまり、あの時の話は自分の事として話してなかったということになるのです。思えば、このことに限らず色々な場面でそうであったように思えます。

命尽きるまで消えない煩惱の心を持つ  
我が身の愚かさに改めて気づかされてい  
ます。

皆さんは如何でしょうか？

「凡夫というのは、無明煩惱われらが身に  
みちみちて、欲もおおく、いかりはらだ  
ち、そねみ、ねたむころもおおく、ひま  
なくして臨終の一念にいたるまでとどま  
らずきえず、たえずとー

『一念多念文意』



昨年に続き今年も「新盆合同追悼法要」を中止させていただくことにしました。

お盆は仏教行事の中で最もよく知られた行事です。

特に、身近な方の初めてのお盆（新盆）は、ひとしお寂しさを覚えるものです。そこでお盆にかかわる疑問点をお答えします。

Q お盆はいつからいつまでですか？

A 8月13日～16日です。

いつの頃からか、13日に亡き人の霊があの世界から帰り、14、15日と家に滞在し、16日に再びあの世界に帰っていくという民間信仰によるものです。

13日に先祖の霊を自宅にお迎えするために「迎え火」を焚き、16日に無事あの世界へお帰り頂くために「送り火」を炊くのです。京都の大文字焼は送り火の代表的なものです。ただし、浄土真宗では迎え火・送り火はしません

というのは、浄土真宗では亡き方は阿弥陀さまのご本願のお力で、命終わると同時に浄土に生まれて直ちに仏となり、いつでもどこでも私たちを護り導いて下さっています。つまりお盆の時しか 帰らないということはありません。したがって、迎え火や送り火をする必要がないのです。

Q どのようなお飾りをすればいいのですか？

A 特別なお飾りをすることはありませんが、親戚の方がお参りに来ることがありますので法事程度のお飾りにして下さい。

仏具は五具足（ローソクたて一対・花立一対・香炉）

お供えはお菓子、果物を適宜して下さい。

盆提灯・盆灯ろうは特にしません。

なお、他宗では、「精霊棚」と呼ばれる棚を用意しますが、浄土真宗ではしません。

Q 浄土真宗のお盆の意義とは？

A お盆は、亡き人のご恩を偲び、「この私もいずれ、浄土に参らせて頂きます」と、私のいのちの帰るべきふるさとがお浄土であることを、改めて確認させて頂き、阿弥陀さまの広大な仏恩を讃嘆させて頂く、その尊いご縁にしていくところに浄土真宗のお盆の意義があります。



## 【余間 その1】

次のような銀行があると、考えてみましょう。

その銀行は、毎朝あなたの口座へ 86,400 円を振り込んでくれます。

同時に、その口座の残高は毎日ゼロになります。つまり、あなたが 86,400 円をその日に使い切らなくても残額はゼロになります。

あなただったらどうしますか。

もちろん、もったいないから毎日 86,400 円全額を使い切りますよね。

それと同じように私たちは一人一人が同じような銀行を持っています。

それは時間です。

毎朝、あなたに 86,400 秒が与えられます。

その時間は翌日に繰り越すことは出来ません。

さて、あなたならどうしますか。

えっ！私ですか？

“今は出来る限り有効に使いたいと思っています。というのも、最近は特に時間の経つのが早いのです。「ついこの間正月だと思っていたら、早や一年過ぎた」というような感覚です。このままですとあっという間に終着駅です。せめてそれまでは時間を無駄にしないように心がけたいなあと思っています”



## 【余間 その2】

宇宙は 138 億年前のビッグバンから始まりました。

138 億年を 1 年に置き換えると、1 日→3780 万年・1 秒→448 年・人の一生→0.2 秒以下になります。それを年表にしますと下図のようになります。

## 【宇宙年表】

1月1日 午前0時	ビッグバン	138億年前
8月31日	地球誕生	46億年前
9月2日	月の誕生	45億年前
12月20日	原始魚類の時代	5億年前
12月27日	恐竜の時代	2億年前
12月30日	メキシコのユカタン半島に巨大隕石落石。恐竜絶滅	6550 万年前
12月31日 21時15分	人類誕生	500 万年前
	23時59分50秒 エジプト文明	4000 年前
	23時59分59.5秒 産業革命	250 年前

趣味の広場



俳句を楽しむ(八十六)

森本隆を



只今、梅雨期のまっ最中です。郊外の田も田植えが終り、久し振りに広がる水田に遥かな四国山脈の山や流れ行く雲が映って、自然の豊かな環境に生きていく幸せを強く感じている今日このごろです。世間では相変わらずコロナ騒ぎが続く、その上にオリンピックも間近となり日本中なんとなく落ち着きません。そんな中、前回は春の代表的な梅、桃、桜の三つの花を詠んだ句を鑑賞しました。そこで今回はこれから真夏、その後のにそっと訪れる初秋のころに、昔から、そしてどこにでも見られる代表的ないくつかの花の句を探してみることしましょう。

まず、丁度今ごろ、どこを歩いていてもすぐ目につくのは、紫陽花、花菖蒲ですね。

紫陽花の穂の日に登校す 星野 立子  
あぢさゐの真水の如き色つらね 高木晴子  
あぢさゐの色にはじまる子の日誌 稲畑 汀子

第一句め、毎朝咲きつづ紫陽花を明るく詠み、毎日元気に登校する子供の姿を母親の視線で幸せに詠みとめています。二句めは紫陽花の花をこまかく見つめ写し取り、三句めは日々の暮らしの中での子供との触れ合いの一瞬をうまくとらえて詠

んでいますね。次に花菖蒲。

花菖蒲夕べの川のにごりけり 桂 信子

この句は作者が終戦の翌年。まだ空襲の跡も残り人々は疲れ果てた混乱の時代のある日の暮れ方に詠んだ句です。苦しいことはかりの生活の中でも作者の目は花菖蒲の美しさに気づき、励まされているようです。

菖蒲園人ゆつくりと混んでをり 中里二庵  
ひらがなで物思ふ日の花菖蒲 鍵和田柚子  
この二句は穏やかな暮らしの中で花菖蒲の美しさに季節を感じ、落ち着いた心で今日を送っている、梅雨どきの一日を楽しんだ句です。

では。梅雨が終り、暑い夏が来ると日を追はぬ大向日葵となりけり

の句の様にいよいよ向日葵の季節ですね。作者は、竹下しづの女、という女性俳人です。咲き切った向日葵はもう太陽の方へ向きを変えたりしません。堂々と、揺るぎない大きさを成熟し、自足している、正に夏の花です。

向日葵に触れて力を貰ひけり 岡島 伴郎

向日葵の群れ立つは乱ある如し 大串 章

向日葵の一茎一花咲きとほす 津田 清子

夏の代表花、というだけでなく、メキシコ原産らしく逞しく強烈で、暑さに負けそう

なときに勇氣や力をもえそうな花です。又、この時期、蓮や睡蓮の花もよく見ます。

一つ見え次々と見え蓮の花 沢木 欣一

大賀蓮仏のみ手の上のわれ 和田 あや

蓮の花はその育ちが泥沼でありながら開いた清らかで美しい花なので愛され、古来、和

歌にもよく歌われてきました。仏教では極楽に咲く花として描かれ、蓮華とか蓮台などの言葉に仏教との強い結びつきを感じます。

睡蓮は、花は蓮に似ていて夕方には一旦花を閉じることからスイレンと呼ばれます。遠く咲く睡蓮一つひとつ去りがたし

睡蓮の花の向こうのつつがなし 森賀 まり  
蓮の花よりやや繊細な感じのする睡蓮は、見た人が自分の思いを託して句に詠むようです。そして八月になれば朝顔の花。俳句では秋の

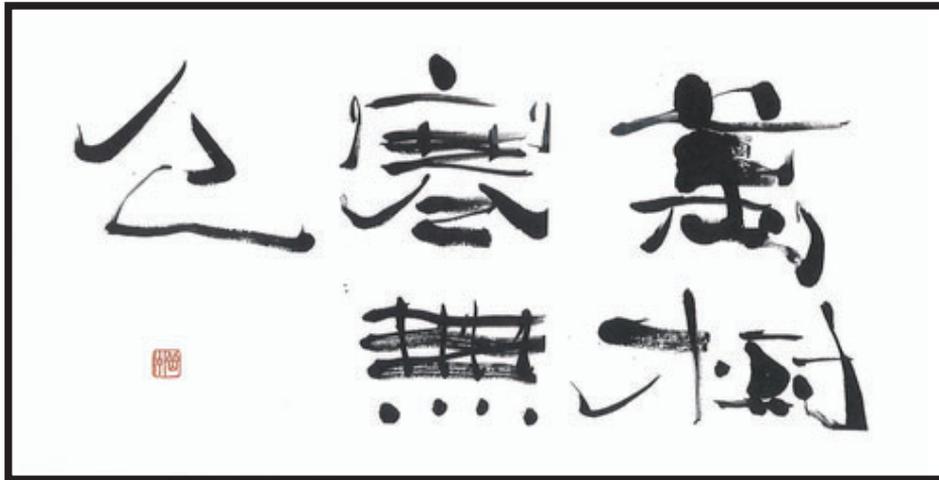
季語です。まだまだ猛暑の八月ですが、近くまで忍び寄っている秋の気配を次の句で。

朝顔の紺の彼方の月日かな 石田 波郷  
朝顔やはらりと今日をほどこきたる

では、この夏を元気に乗り切ってください。 河野 美奇



# 位職書作品



【字句】 萬樹寒無色

BOOK  
本

『13歳からの仏教』



出版社 本願時出版社  
著者 竜谷総合学園  
定価 1320円

本書は、初めて浄土真宗に触れる方でも安心して手に取っていただける、浄土真宗の入門書です。お釈迦さまの生い立ちや親鸞聖人の生き方がカラーイラストとともに、大変分かりやすく紹介されております。

何のために、生きているんだろう…？子どもだからといって、悩みがないわけではありません。大人だからといって、悩みの解決方法がわかっているわけでもありません。子どもも大人も、みんな悩みを抱えて生きています。題名の通り、幅広い年齢層の方々に役立つヒントが詰まった一冊です。本物の宗教（仏教・浄土真宗）に出会える書です。



光明寺のホームページ

南岳山光明寺

検索



言葉のプレゼント

《携行本尊》

厳しい言葉に「われ」に帰り  
甘い言葉に「われ」を忘れる



表面



裏面

★次回発行予定：12月上旬

「光明寺だより」をご家族の皆さんで  
お読みください



★コロナウイルスの収束の目途がたちません。この状況を鑑み、本年の「新盆合同追悼法要」は中止することにしました。

★昨年十月の中咽頭がんの手術後、住職の体調は順調に回復し、毎日法務に励んでいます。現在は月一度、愛大附属付属病院で経過観察をうけております。

★住職の子どもたちもそれぞれに順調に成長しております。

長女（心）は小学校二年生。次女（美乃莉）は幼稚園年長。長男（光）は七月で満三歳になります。

★本年4月より本願寺から携行本尊（縦9cm・横5.5cm）が交付されることになりました。冥加金（申込金）は一幅・1万円です。携帯するためのご本尊ですが、専用の台を使用して部屋に安置することもできます。

★上図参照

